

試合に感動、交流も

県内特別支援学校生ら観戦

奈良西ROCが招待

県内の特別支援学校生らが19日、奈良市法蓮佐保山4丁目の奈良市中央体育館で行われたプロバスケットボールのbjリーグ、バンビシャス奈良対琉球ゴールデンキングス(沖縄県)戦を観戦した。奈良西ロータリーク

ラブが社会奉仕活動の一環として招待。中学部・高等部の生徒と卒業生計41人と保護者らが参加し、選手から一人一人にサイン色紙やマフラータオルを贈られたり、記念撮影する

など交流した。天理市の沢田久美さん(18)は「奈良養護学校卒は「握手した外国人選手は手も体も大きかった」、初めて1階席で観戦した同校高等部3年の門之口結衣さん(17)は「近くて見る試合は迫力が違う」とそれぞれ感想。この日、バンビシャス奈良は惜しくも敗れたが、平群町の坂野文香さん(18)は「同校卒は「勝ってくれ」と信じて応援した」と話していた。



選手から記念品を贈られ、交流する参加者。19日、奈良市法蓮佐保山4丁目の奈良市中央体育館

「バンビシャスがんばれ」

養護学校・特別支援学級生徒ら観戦



声援を送る生徒ら

バンビシャスの本拠地最終戦を、県内の養護学校や

特別支援学級の生徒ら約70人が観戦した。プロスポ

ツの観戦の楽しさを感じてもらおうと、「奈良西ロータリークラブ」が招待した。生徒たちは試合前、バンビシャスの本多純平選手(26)らから贈られたタオルを首に巻くなどしてコート脇で応援。終始劣勢の試合展開にも「がんばれ」と声援を送り続けた。

奈良養護学校・高等部3年の門之口結衣さん(17)は「負けてしまつて悔しいが、選手たちはかっこよかった。来季も応援に来たい」と選手たちに拍手を送っていた。(浜田祥太郎)